

施策マネジメントシート

施策名	行政評価	議会運営の支援	施策統括課	議会事務局	氏名	町田勝則
政策名	施策体系	推進体制	施策関係課			

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

- 国立市議会
- 国立市議会議員
- 市民

意図(対象をどう変えるのか)

- 議会の役割が十分に発揮されている
- 議会情報を入手できる

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 定例会・臨時会開催回数	回
イ 委員会開催回数	回
ウ 議員数	人
エ 人口	人

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 議員提出条例・意見書・決議・要望件数	件
イ 支援体制に対する苦情件数	件
ウ 議会に関する情報がある程度公開されていると思う市民の割合	%
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
市民への情報公開・情報提供	議会報及びインターネット中継システムの充実に努めます。
議会活動の支援	議会が円滑に運営されるよう、議会事務局職員の能力の向上に努めます。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア	回	見込み値									
			実績値	5	5	9	5	6	4	5		
	イ	回	見込み値						12	12		
			実績値						13	20		
ウ	回	見込み値			24	24	24	22	22			
		実績値	24	24	24	24	22	22	22			
エ	人	見込み値									76,000	
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,381			
成果指標	ア	件	成り行き値				17	17	17	16	16	16
			目標値				17	17	17	16	16	16
			実績値	28	14	10	10	11	24	23		
	基本計画における施策の目標設定の根拠			社会情勢によって変わる数字であるため、2007(平成19)年度~2013(平成24)年度の平均値を目標値としました。								
	イ	件	成り行き値				0	0	0	0	0	0
			目標値				0	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0	0	0		
	基本計画における施策の目標設定の根拠			現状値として支援体制に対する苦情はないため、その状態を維持することを目標としました。								
	ウ	%	成り行き値				34.2	34.2	34.2	34.2	34.2	34.2
			目標値				36.0	37.8	39.6	41.4	43.2	45.0
			実績値	12.9		34.2	35.1	38.0	37.0	35.5		
	基本計画における施策の目標設定の根拠			2010年3月公表の第2回国立市市民意識調査で、年代別に最も高い水準である65歳~69歳の41.4%を超える数値を目標値としました。								
エ		成り行き値										
		目標値										
		実績値										
基本計画における施策の目標設定の根拠												
オ		成り行き値										
		目標値										
		実績値										
基本計画における施策の目標設定の根拠												
事務事業数			本数	15	15	16	16	15	15	10		
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
			都道府県支出金	千円								
			地方債	千円								
			その他	千円								
			一般財源	千円	244,206	250,319	254,056	254,126	341,934	286,388	273,674	
		事業費計(A)	千円	244,206	250,319	254,056	254,126	341,934	286,388	273,674	0	0
	人件費	延べ業務時間	時間	11,608	13,363	14,894	14,789	14,699	15,677	15,970		
	人件費計(B)	千円	58,040	66,815	74,470	73,945	73,495	64,837	65,620			
トータルコスト(A)+(B)			千円	302,246	317,134	328,526	328,071	415,429	351,225	339,294	0	0

4 施策の現状

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?

・議会の傍聴者が増えるなど、議会活動に関心を持つ住民が増えている。
 (平成21年度:572名、平成22年度:692名、平成23年度:874名、平成24年度:497名、平成25年度:467名)
 ・平成22年第3回定例会で定数を2減とし22名とする議案が可決され、平成23年4月の改選後に定数が22名となった。
 ・市販パソコンの低価格化や携帯端末等の普及が進んでいる状況があり、市民が手軽に情報にアクセスする環境が整ってきている。今後、インターネットを活用した情報発信が求められている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

[市民]

・傍聴機会の増進や傍聴に来られない市民のために、議会の平日夜間・土日での開催や委員会のインターネット中継をしてほしいとの要望がある。
 ・傍聴者用に閲覧用の議案・資料等の部数を増やしてほしいとの声がある。
 ・会派代表者会議を公的な会議と位置付けて、公開を望む陳情が平成24年第1回定例会に出された。

[議会]

・インターネットによって、さらに委員会の審査等の内容を公開したいという意見がある。

5 25年度の評価結果

(1) 施策の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
議会事務局職員の能力の向上に努め、市議会の運営が円滑になされるよう取り組むとともに、より開かれた議会を実現するため、情報提供の充実・迅速化をさらに進める。	・職員の能力向上のため、積極的な研修参加を促した。 ・平成22年6月に議会改革特別委員会から議会の情報発信については議会報の充実とインターネット中継の充実が課題であると報告があり、紙面の拡大等の読みやすい工夫を図るとともに、平成24年度から会派別表決結果の掲載を始めた。また、インターネット中継の充実については議会運営委員会で引き続き検討を進めている。 平成25年9月に議会改革特別委員会を設置し、2つの重点課題に対応した部会を立ちあげている。

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)	
成果指標ア 【 議員提出条例・意見書・決議・要望件数 】	
<input checked="" type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
成果指標イ 【 支援体制に対する苦情件数 】	
<input checked="" type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
成果指標ウ 【 議会に関する情報がある程度公開されていると思う市民の割合 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input checked="" type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
成果指標エ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
成果指標オ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
成果指標カ 【 】	
<input type="checkbox"/> 25年度目標値を達成 <input type="checkbox"/> 未達成 (<input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果向上・維持 <input type="checkbox"/> 24年度実績値と比較し成果低下)	
時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)	
B:成果がどちらかと言えば向上した	
他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)	
B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である	
背景として考えられること	
ア 陳情を受けての意見書提出等の議案提案が増加した。	
イ 議会が円滑に運営されており、支援体制に対する苦情は出ていない。	
ウ 新たな情報提供などの取り組みがなく、公開されていると思う市民の割合は横ばいとなっている。 本会議のインターネット中継(ライブ・ビデオ)、会議録検索システムとも、毎年アクセス件数の増加がみられ、市政・議会への関心度は高まってきており、陳情の件数も増加している。 平成26年3月公開の市民意識調査で、議会の情報が十分に公開されているかの設問に対して、「わからない」との回答が53.9%もあり、市民の議会に対する関心が薄いといえる。	

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

・情報公開に向けた取り組みは、議会全体で協議しながら実施できた。
 ・議会内での協議が円滑に進むように、情報収集、資料作成などの迅速な対応を行った。
 ・職員能力の向上のための専門研修受講には、積極的に取り組んだ。
 ・情報収集・資料作成などを優先したため、会議録の作成を時間外で対応した。

6 施策の課題・今後の方向性

・議員提出議案等を出しやすい支援体制づくり(例:事務局職員の能力向上、情報収集のための環境整備)
 ・議会配布資料を市民に向けて積極的な公開をしていく。
 ・インターネットを活用した迅速な情報提供
 ・購入から10年以上を経過し、老朽化・修理用部品の調達が困難となっている議会中継システムの入れ替え。